



# だっこするよ

令和3年12月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

## 自分の心と体を大切に プライベートゾーンについて

落ち葉の散歩道、お散歩バックにはどんぐりや落ち葉を沢山詰めこんで満足げです。日ごとに寒さも増してきましたね。街もクリスマスのイルミネーションが始まりキラキラしています。

乳児組は、保育参観にご参加いただき有難うございました。「普段の様子が見られて良かった」「友だちと仲良く遊ぶ姿に子どもの成長を感じた」と感想が綴られ嬉しく思いました。子どもは、誰かのお世話になるはなく、自分の力を全部使って生きています。小さくても意思をもって素敵です。

11月、5歳組、4歳組は、赤羽自然観察公園バーベキュー場にて「焼き芋パーティー」を行いました。保護者の皆さんのサポートを頂いて「火」にふれる体験が出来ました。濡らした新聞紙とアルミホイルで芋を包み、グループでのマッチ体験を行い、自分たちで組み木をして火を起こしました。煙や炎の熱さを感じ、集めてきた枝や薪を燃やして、炭、熾火してから芋を入れます。その熾火の上で芋を回しながら焼くのです。とても時間のかかることですが、この時間がかかる面倒な体験をさせてあげたいと思っています。今回、4歳組で、火傷をさせてしまいました。大変申し訳なく思っております。4歳、5歳での火を扱うことの安全、道具の扱いについては徹底していきます。ボランティアでご協力いただきました皆様有り難うございました。大人チームの「本気で遊ぶ」「本気で笑う」「本気で走る」「本気で可愛がる」大人のチームワークが素晴らしかったです。

幼児組では「大きくなったねの会」へ取り組みが始まりました。5歳組で話し合った今年のスローガンは「みんなで楽しく、仲良く、嬉しくなる大きくなったねの会」です。ワクワクした気持ちが伝わってきます。取り組みのなかで様々な思いがぶつかり合い、葛藤が起きること、小さな挫折をすることもこの会の目的です。クラスの皆で気持ちを発酵させながら表現を創造していく楽しさを味わって欲しいです。

さて、「全国保育士会倫理綱領」「法人職員としての心得」に基づいて、保育士は直接子どもの心身にふれる仕事であることから、子どもの人権を尊重した保育を行えるように進めております。保育士の不適切な保育が無いよう保護者の皆様が安心してお預けいただけるよう今後も運営して参ります。

また、子どもたち自身にも性教育の入り口として「自分の心と体を大切にしよう」と話し合いました。集団生活であり、常に他者と過ごします。「自分の体を大切に守ろう」と話をしました。

始め「良いタッチと悪いタッチ」について、「どんなことだろう？」と尋ねるとどんどん意見がでました。悪いタッチは、殴る、蹴る、噛みつく、叩く、押す…良いタッチは、ママのハグ、ぎゅうとしてくれる、抱っこ、握手、頭をなでる…などが出ました。そして、自分だけの大切な場所＝プライベートゾーンについて話しました。プライベートゾーンとは他人に見せたり、触らせたりしてはいけない体の場所であり、水着で隠れる場所のことです。男の子は口、性器、お尻、女の子は、口、胸、性器、お尻です。子どもたちが「触れられてはいけない場所」と理解しておく、もしものとき「嫌だ」「止めて」と言うこと、大人にすぐ話して欲しいと伝えました。2歳組にも人形を使って話しました。よく聞いてくれました。自分の体(心)については繰り返し伝えていきます。ご家庭でも親子でプライベートゾーンについて話し合ってみて下さいね。

参考図書「おしえてくもくん」プライベートってなあに？東山書房監修小笠原和美

もうすぐ、クリスマスやお正月がやってきます。子どもたちにとって一年で一番嬉しい季節ですね。暮れの大掃除やお正月の準備、そして初詣など生活する知恵や日本の文化を体験させてあげてください。小さな賢人たちは何でも出来ます。お手伝いが大好きです。

ご家族でゆったりと暖かな時間が流れますように。今年も運営へのご理解とご協力誠に有難うございました。新しい年には、新型コロナウイルスの感染が落ち着いて、平和で地球上の子どもたちが伸び伸びと健康に過ごし、笑顔があふれる新年でありますように。

写真は、5歳組の焼き芋パーティーです。